



- 車2台分のスペースをというオーダーに、ファサードいっぱい駐車場を確保。建物を高く見せることで、風格ある外観に仕上がっています。
- リビングは、ダイニングキッチンとひと続きの16畳。一面に床暖房が施してあります。
- 設計を詰めている段階で3人目のお子さまができたので、間取りを急ぎ3LDKから4LDKに変更。いまは二間続きの部屋も、お子さまの成長とともに壁が追加できるようにしています。
- ご夫婦の寝室はお子さまが小さいためにまだ未使用のまま。いまはご家族そろって洋室を寝室にしています。
- アイランド型キッチンの後ろに収納を集約。上段の引き戸収納と、下段の引きだし収納を使い分けて、食器や調理器具をスッキリと収納。

玄関先のホールは、隣のリビングと2階への階段につながっています。長い廊下になかったのは、「その分リビングに回したかったから」とMさま。めったに使ったことがない和室は作らず、キッチンとひとつながりにした16畳強のリビングを実現。天井高も2.6mのゆとりの高さです。Mさまはこのリビングがお気に入り、あえてソファも置かず、ゆとりさ加減を楽しんでおられるそうです。天然ワールナットを単板張りにした床には、全面に床暖房が施してあります。

キッチンの隣は広めの洗面兼脱衣場です。家族全員の衣類が洗濯から乾燥、収納まですべての部屋で完結します。汚れて帰ってきたときのために外から直接入れる勝手口も用意。家の内外で生活動線の配慮がなされています。

2階も、4つある個室に階段上がりから直接出入りできるようレイアウトされています。できるだけ廊下を少なくし、効率的な間取りと動線に配慮した結果です。

「週末は友人たちを招いて家の自慢をしています。夜遅く帰ってきたときも、玄関の明かりを見るだけでうれしくなります」というMさま。多くの願いをかなえてくれたマイホームに、奥さまもとても大満足の様子です。

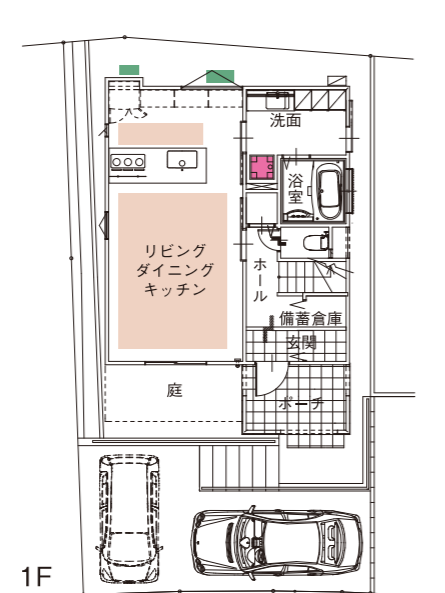
家族で暮らす楽しさを 実感しています



株式会社ATTIC
代表
辻井 淳也さん

1992年栗林建築デザイン研究所入社。1993年三井ホーム株式会社京都支店出向。1997年数島住宅株式会社 注文住宅事業部 (GLホーム事業部) 入社。2001年リード・アーキテクト株式会社入社。2009年ATTICを開設。

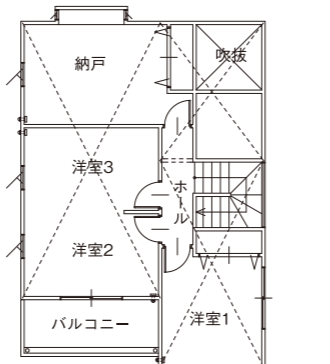
- ・連絡先: 株式会社ATTIC
- ・住所: 京都府長岡京市奥海印寺下条3-5
シャント長岡2階
- ・TEL: 075-956-3663
- ・FAX: 075-200-2031
- ・URL: <https://www.attic-co.jp/>



理にかなう家(M邸)

- ・所在地/京都府京都市
- ・敷地面積/113.61㎡
- ・建築面積/54.08㎡ 延床面積/92.01㎡
- ・構造・規模/木造・地上2階
- ・設計期間/2018年3月~2018年11月
- ・施工期間/2018年11月~2019年7月

理にかなう家(M邸) 縮尺=1/200



2F

- エネファーム
- ヌック
- 乾太くん

導入ガス設備・システム

- ・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム エネファームtype S
- ・ガス温水床暖房 ヌック
- ・ガス衣類乾燥機 乾太くん



「宅地の造成から始めて、理想の住まいをカタチに。」

施主さまの要望にしっかりと応えるため、年間の設計件数を10棟までに制限しているATTICの辻井さん。もともと京都伏見のご出身で、施主の奥さまのお父さまとは古くからの知り合いでした。周辺の土地勘はありましたが、設計の相談を受けたとき、辻井さんは改めて現地に赴きました。現地の雰囲気を立体的に把握して、地形にあった建物をイメージするところから辻井さんの設計の仕事が始まります。

それまで社宅にお住まいだった施主のMさまは、お子さまが学校に上がられるのを機に、マイホーム探しを始めるつもりで、「建売の物件もいくつか見ましたが、なかなかしっくり来るのが見つかりませんでした」と奥さま。「しかし辻井さんと話す

うちに、自分たちの住みたい家のカタチが見えてきました。」

こうしてご夫婦の要望に予算や土地の条件などを加味し、辻井さんのアドバイスを交えながら細部を詰めていく作業が始まりました。ご要望は「玄関先に車を2台置ける駐車場がほしい」、「子どもには1人1部屋ずつ、人数分の部屋を確保したい」、「家族の集まるリビングをできるだけ広くとりたい」、「共働きなので家事の効率をあげたい。そのためには動線も考慮して……」と、実にさまざま。

辻井さんは、まず道路と2mの段差があった土地の造成から始め、ガスや水道を敷設。家の前に駐車場を設けて厳しい遮蔽率をクリアさせ、設計の自由度を確保しました。

